

# お米の需給と価格の安定を図るため、 主食用米からの更なる作付転換が必要です！

- ・ 2年産の相対取引価格（令和3年3月）は、出来秋から▲403円/60kg、前年同月比で▲1,009円/60kgと下落傾向にあります。
- ・ 民間在庫量（令和3年2月末）についても、近年で最も高い水準となっており、前年同月比で+28万トン、うち東北6県では+12万トンとなっています。
- ・ また、米取引関係者の判断によると、向こう3ヶ月の主食用米の需給動向および米価水準について、「緩む」「低くなる」との見方が非常に強くなっています。
- ・ お米の需給と価格の安定を図るためには、令和3年産において、全国ベースで約36万トン（▲6.7万ha）の作付転換が必要な状況であり、東北6県でも飼料用米などへの更なる作付転換が求められています。

## ○相対取引価格

(全銘柄平均価格)

元年産  
(令和2年3月)  
15,749円/60kg

↓ ▲1,009円

2年産  
(令和2年9月) ▲403円  
15,143円/60kg → 2年産  
(令和3年3月) 14,740円/60kg

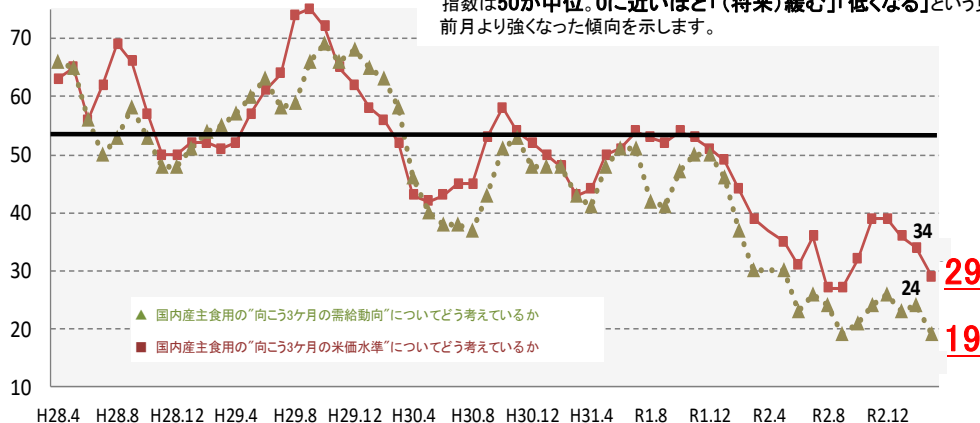
## ○民間在庫量

	(万トン)					
	H29.2末	H30.2末	H31.2末	R2.2末	→	R3.2末
全国	282	263	258	266	+28	294
東北	101	95	94	99	+12	111

## ○米取引関係者の判断(米穀機構による調査、令和3年3月分)

↑ 締まっている・高い

注：米取引関係者へのアンケートを行い、回答者の判断や方向性を指数化(DI)したものの、指数は50が中位。0に近いほど「(将来)緩む」「低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。



↓ 緩んでいる・低い

この資料に関するご意見、ご要望等がございましたら、  
ご遠慮なく右記連絡先あてご連絡ください。

ご連絡先：東北農政局 青森県拠点  
担当：笹木、木村、外崎  
TEL 017-777-3512  
メール：seitoshi\_sasaki980@maff.go.jp